

第8回地域生活の医療的ケアを考えるフォーラム

“医療的ケアの必要な方のキャリア発達を支援する”

学ぶことは、生きること、生涯にわたって生きる喜びを！

「キャリア発達とは、自己の知的、身体的、情緒的、社会的な特徴を一人一人の生き方として統合していく過程である」と言われています。そのキャリア発達の機会は、誰でも、いつでも、どこでも、そして、いくつになっても、「合理的配慮」として備えられていることが、「障害者差別解消法」の理念です。しかしながら、18歳以上の医療的ケアの必要な方々にとっては、その機会と場は、皆無に等しい状況です。

医療的ケアが必要であるなど障害の重い方は、発達が緩やかで、生涯学び続けることが、生命を育み、生命を輝かせ、健康でQOLの高い生活を送ることができます。そんな方々に、私たち3団体では、訪問による生涯学習の機会を、ささやかながら提供し、その成果に喜びと誇りを感じています。

本フォーラムでは、その実践を報告し、医療的ケアの必要な方のキャリア発達を支援するシステムの拡充をお願いしたいと考えています。ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

1 日時 平成28年7月16日(土) 13:00~16:30 受付12:30

2 会場 国立オリンピック記念青少年センター センター棟 4階 403
最寄駅 小田急線参宮橋駅下車徒歩7分 東京メトロ代々木公園4番出口徒歩10分

3 参加費 無料

4 主催

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所	「訪問カレッジ@希林館」	代表 飯野 順子
おおきなき	「訪問大学 おおきなき」	代表 相澤 純一
NPO法人 ひまわり Project Team	「ひまわり Home College」	代表 藤原 千里

5 対象 対象：医療的ケアの関係者（家族・福祉・医療・教育・行政等の方々）

6 次第

13:00~13:10 あいさつ 特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所 理事長 飯野 順子

13:10~13:40 「医療的ケアの現状と課題」

特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所 理事 下川 和洋

13:40~14:40 講演

「生きる 力いっぱい生きる～みんなが教えてくれた存在の意味と可能性」

社会福祉法人 訪問の家 理事

社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会 会長 日浦 美智江

14:40~14:50 休憩

14:50~15:20 実践報告① 「訪問カレッジ@希林館」

15:20~15:50 実践報告② 「訪問大学 おおきなき」

15:50~16:00 実践報告③ 「ひまわり Home College」

16:00~16:20 質疑応答

16:20~16:30 まとめ

7 定員・申込・問い合わせ

定員はありません。ただし資料の準備のため事前に以下へメール又はファックスでご連絡ください。タイトル・件名に「医療的ケアフォーラム申込」、本文に参加者氏名と所属をお書きください。特に返信は致しません。宛先 下川和洋 E-mail kazu.shimokawa@gmail.com ファックス 042-561-8945
なお、事前申込みが無い場合でも、当日受け付けます。